

孺恋高原キャベツの鳥獣被害対策

2018/9/28

孺恋村は、JR 吾妻線沿線地域を除く全地域が標高 1000m 以上の高地に位置するため、亜寒帯湿潤気候となっています。夏は湿度が低く冷涼で、過去に真夏日を観測したのは6日のみだそうです。

孺恋村の経営耕地面積は3,390haでその内、キャベツの作付面積が約3,000haとなっている。村内の農業は、西部地区のキャベツを中心とした平均7haから8haの大規模農家と東部地区の水田、トウモロコシ、インゲンなどの多品目生産農家とに大別される。

昭和の初期に長野県からキャベツ栽培が導入され、今では夏秋キャベツ収穫量では日本一の産地で、7~9月の3ヶ月間、東京市場に入荷するキャベツの約6割が孺恋村産で占める。

被害対策

キャベツを食い荒らすのは二ホンカモシカと思われていたようだが、昨年度孺恋村が調査してみたらどうやらシカによる食害もあることが分かったという。

有害鳥獣による農作物被害額は平成16年度が約4千万円、平成19年度に約2億6千万円と急増し、平成23年度には約3億6千万円と県全体の65%を占めるまでに増加してきた。



加害獣の出没・加害調査

農家アンケートではカモシカによる被害が約8割と圧倒的に多かったが、カモシカは昼間に目撃れることが多く、加害獣種を正確に認識していない可能性があるため、自動撮影カメラを設置し加害獣の出没・加害状況を調査した。(H26:7地区) この結果、カモシカ以外にもイノシシ、シカ、クマがキャベツを加害していることが確認され、また地域によって、出没・加害する主な獣種は地域差があることが判ってきた。(獣種別の加害割合は解析中)

「キャベツの大規模産地 孺恋村における鳥獣被害対策」から引用

防除対策の推進と効果検証

被害の増加に伴い電気柵設置が進んでいたが、設置方法が適正でない柵が見受けられたことから、各地域で講習会（H24-H25：25回）を開催するとともに啓発資料を全農業者に配布したところ、適正な設置方法が徐々に普及してきた。（適正設置率 H24：6%→H25：19%）一方、村で進めていた広域的な金網柵整備の効果を検証するため、被害が甚大であった3地域について、整備前と整備後の被害状況を調査したところ、被害面積は前年比19%と大幅に減少したことが判った。

「キャベツの大規模産地 孺恋村における鳥獣被害対策」から引用

被害対策が功を奏し、昨年度の被害額は1億5000万円にまで減少してきた。

防護柵は、ワイヤーメッシュとフェンスの2種類が設置され、案内していただいた村役場農林振興課鳥獣害対策係長の土屋さんによれば、約3000haのキャベツ畑と周りの国有林などの林との境約150キロにわたって設置されている。また、道路（村道）にはグレーチングが設置されシカの侵入を防ぐ取り組みが行われている。しかし、国道や県道には安全上設置できないため侵入経路になる危険性があるようだ。



群馬県とメーカーが開発した「わたれません」

移動するシカ

北海道のエゾシカが越冬地に移動することはよく知られているが、昨年度、センサーカメラを設置して調査した結果、秋の終わりころから浅間山の西側の山を越えて佐久地方に移動していることが分かった。



黄色い線の谷間を通過して移動（写真左方面が浅間山）

土屋さんによれば、移動する理由は、孺恋は、冬は雪に覆われエサがなくなるため、冬でも雪が積もらない佐久方面に移動して越冬する。オスシカを先頭に、佐久方面に移動するときは“比較的バラバラ”と移動し、春先に孺恋村に戻ってくるときは集団で移動すること分かったという。

その証拠となる衝撃的な映像を役場で見せていただいた。センサーカメラがとらえた約1分の動画ですが、林の向こうから1頭のシカが現れたと

思ったら次から次と現れ、余りの多さと移動の速さで、私は数を数えることができなかった。土屋さんが数えたところ、僅か1分間に37頭のシカが映っていたそうだ。3月15日と16日の2日間に行った調査では、合計130頭のシカが移動してきていることが確認されたそうだ。

今後、移動する場所が同じなのか。また、移動時期に違いがあるのかを調べ、もし同じ場所を移動することが分かれば、集団で移動する春先（佐久地方から嬬恋に来るシカ）に大型の罠いわなによる捕獲も検討したいと話す。

キャベツを食べ分けるイノシシ

土屋さんが面白い話を聞かせてくれた。

“イノシシはキャベツを食べ分ける。227という品種は食べるが、それ以外の品種は食べない”という。ただ、ニホンカモシカも食べ分けているかは分からないそうだ。

イノシシが、どうやって品種を見分けるのか。不思議な話だが、本当の話だという。

※ インターネットで調べたら、品種名は、「サカタのタネ 試交品種 K2-227」（商品名は不明）だと思われる。